

第24回工学部・工学系研究科技術発表会を終えて



第 24 回技術発表会実行委員長 榎本一夫(システム創成学専攻)

第 24 回工学部・工学系研究科技術発表会を9月29日(火)に開催しました。影山和郎先生(技術経営戦略専攻、産学連携本部長・統括長、前技術部長)の特別講演「大学における技術開発と産学連携」をはじめ、口頭発表が 12 件、ポスター発表・作品展示で 14 件の発表が行われ、109 名(工学系研究科技術職員 64 名、学内者 32 名、学外者 13 名)の方々にご参加いただき、活発な質疑が行われ、意義ある発表会となりました。今回から、個人の発表だけでなく、部門(研究基盤部門、教育基盤部門、共通技術部門)や、専攻ごとの発表に取り組みました。

発表された方々から各賞の選考を行い、研究科長賞を原子力国際専攻・中野忠一郎氏「5MV タンデム型静電加速器研究設備(MALT)の現状」、技術部長賞を機械工学専攻・山内政司氏「非常用階段非難車に関する考察」、ポスター賞部門を機械工学専攻「多人数演習型教育における技術職員の役割」、ポスター賞個人部門をシステム創成学専攻・茂木勝郎氏「海底湧出水ポンプの改良と採水テスト」が受賞しました。選考方法は北森技術部長の他委嘱した6名の選考委員により、技術報告の原稿、当日の発表をもとに行われました。

開会に先立ち、研究科長と技術部長より技術職員への更なる期待をこめた温かいメッセージをいただきました。教員、事務部の皆様のご理解やご支援、技術職員の皆様のご協力によって、無事技術発表会を開催できたことを、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

多くの技術職員が参加し、発表できるような企画をすすめてきましたが、技術職員の参加者を増やすことはできませんでした。

来期は25回ということで、より充実した、発表会となることを期待したいと思います。